

2021年9月15日

各位

SOMPOケア株式会社
SOMPOケア大泉学園 定期巡回
管理者 中村 竜一
電話 03-5933-2646

介護・医療連携推進会議の件

拝啓 平素は格別のお引き立て、ご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

例年、4月～10月に第1回の介護・医療連携推進会議を開催していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止という観点から、書面での開催とさせていただきます。予定としておりました推進会議の資料を郵送にて配布させていただきますので、ご査収下さいますよう、お願い申し上げます。

敬具

記

■介護・医療連携推進会議資料

1部

以上

2021年度 第1回 SOMPOケア大泉学園
定期巡回・随時対応型訪問介護看護
介護・医療連携推進会議

- 事業所名 SOMPOケア大泉学園
- 日時 2021年度 第1回 コロナ感染症の影響により書面での開催
- 場所
- 目的
 - ① 適正な運営を行う
 - ② 地域に開かれたサービスとする事で、サービスの質の確保と向上を図る
 - ③ 介護及び看護に関する課題について情報共有を行い、介護と医療の連携を図ること

■アジェンダ

	内容	担当	所要時間	開始時間	終了時間	資料
1	コロナウイルス感染防止のため書面での開催					



Innovation for Wellbeing
SOMPOケア

事業所概要

①事業所名

SOMPOケア大泉学園

②事業内容

定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業

訪問介護事業

夜間対応型訪問介護事業・大泉学園、上石神井地域

障害居宅介護 重度訪問介護

③主なお問合せ受付 曜日/時間

曜日 月曜日～金曜日

時間 9:00～18:00

④全事業職員数(人)

正社員 18人

非常勤 6人

合計 24人

⑤利用者状況(人) 2021年9月現在

定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業 20人

訪問介護事業 29人

総合事業 6人

夜間対応型訪問介護事業サテライト 33人

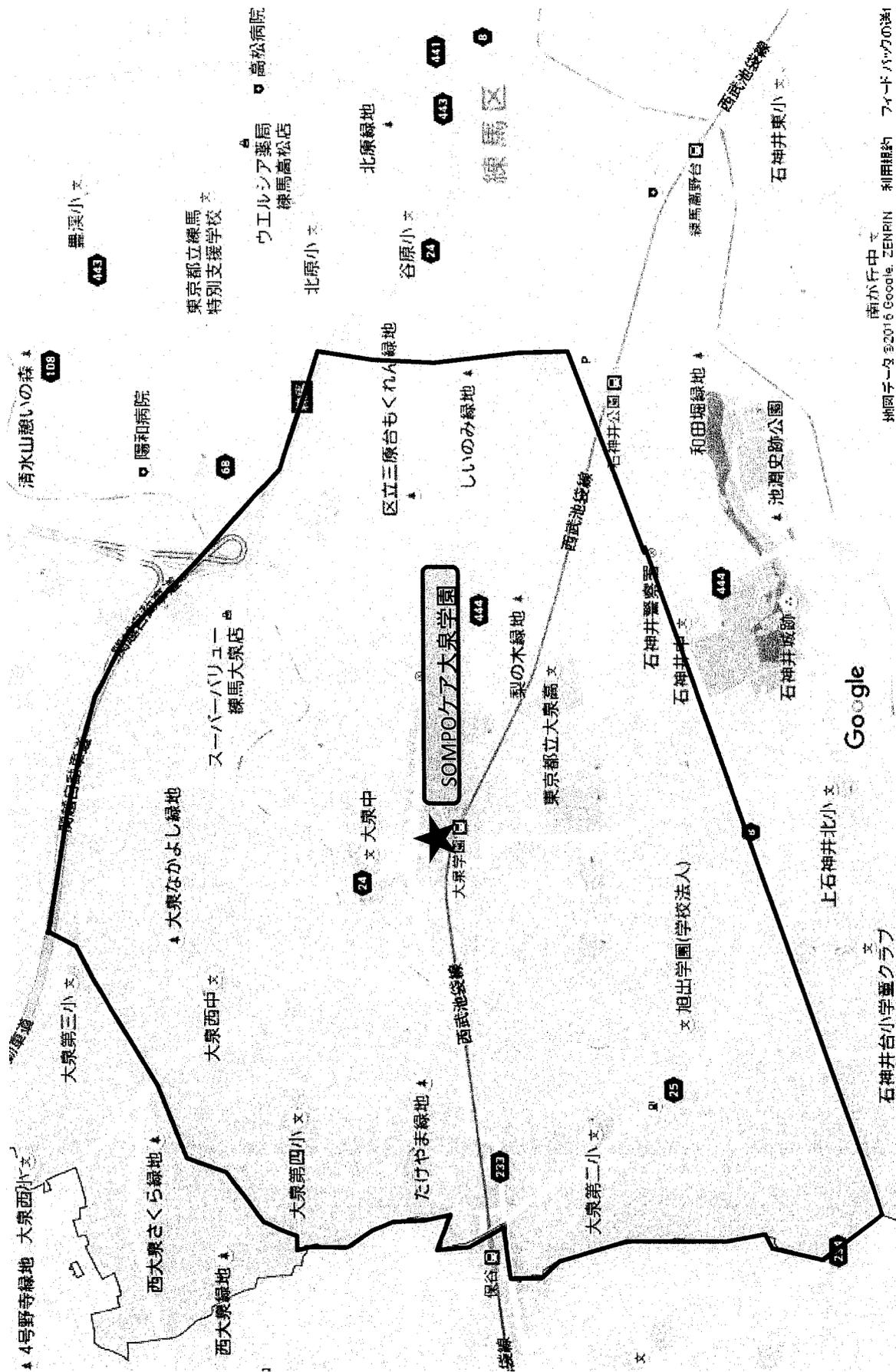
障害居宅介護 重度訪問介護 4人

合計 92人

⑥事業所の特徴

介護度が上がり、さらに多くの介護が必要になった方へは、定額で安心の定期巡回随時対応サービスをお勧めします。介護保険の上限を気にすることなく、住み慣れた自宅で施設同等の介護をお受けいただけます。

訪問エリアは別紙にてご確認ください。

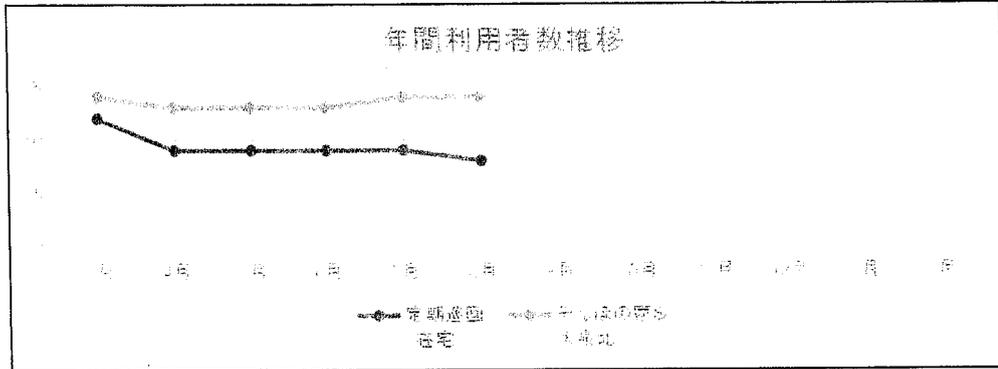


Google

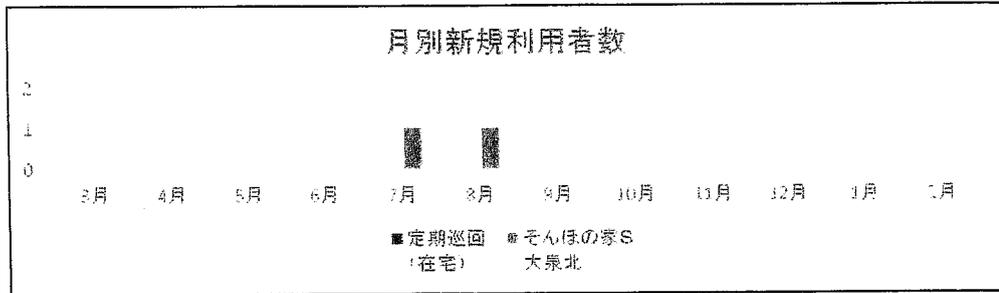
定期巡回 大泉学園 集計データ
2021年3月 ~ 2021年8月

【1. 年間利用者数推移】

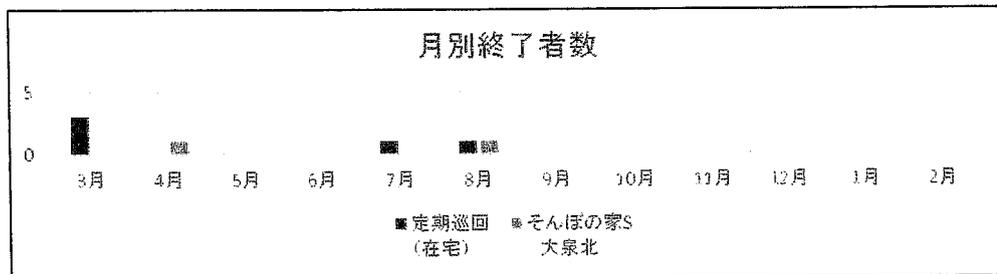
利用者数	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
定期巡回 (在宅)	12	9	9	9	9	8						
そんぽの家S 大泉北	14	13	13	13	14	14						



新規	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
定期巡回 (在宅)	0	0	0	0	0	0						
そんぽの家S 大泉北	0	0	0	0	1	1						

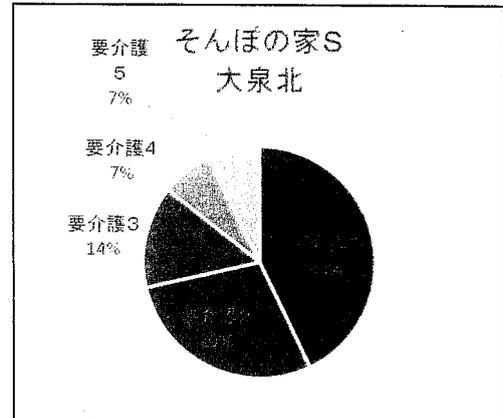
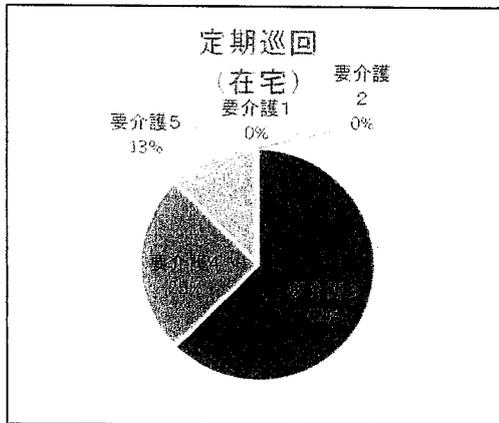


終了	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
定期巡回 (在宅)	3	0	0	0	1	1						
そんぽの家S 大泉北	0	1	0	0	0	1						



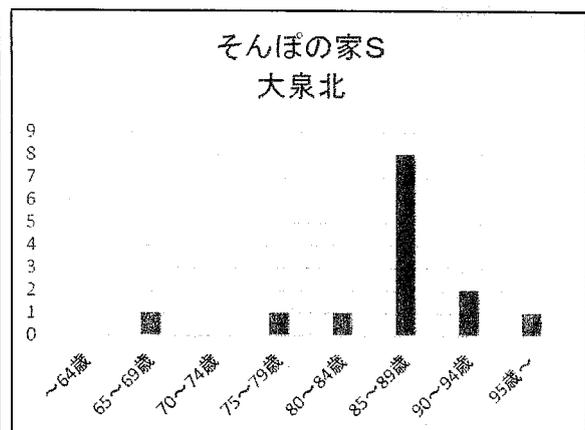
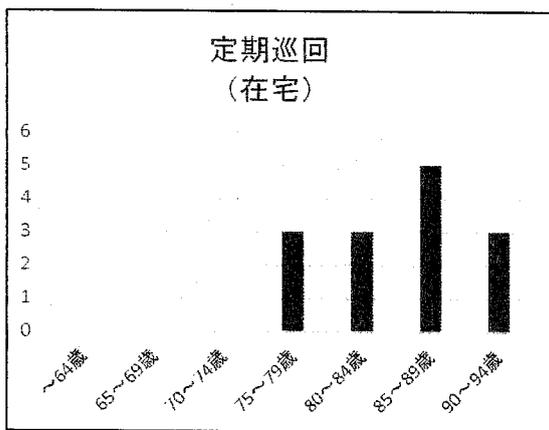
【2-1 要介護度別利用者数】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	合計	要介護度
定期巡回 (在宅)	0	0	5	2	1	0	9	3.10
そんぽの家S 大泉北	6	4	2	1	1	0	14	2.50



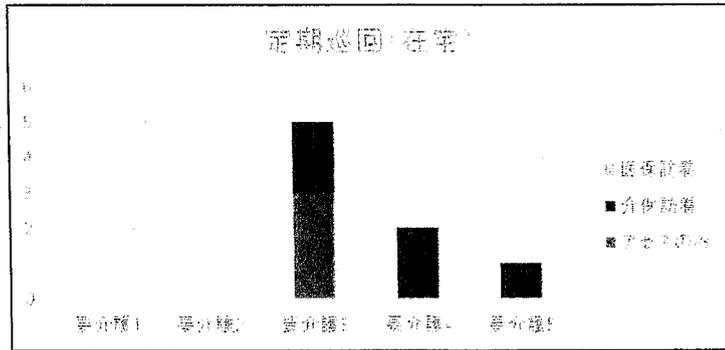
【2-2 年齢別利用者数】

	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳～	合計	平均
定期巡回 (在宅)	0	0	0	3	3	5	3	0	14	86歳
そんぽの家S 大泉北	0	1	0	1	1	8	2	1	14	88歳

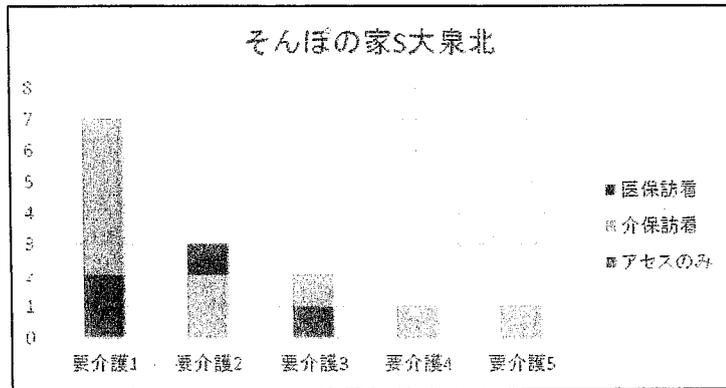


【3. 要介護度別訪問看護等利用者数】

定期巡回 (在宅)	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	全体
アセスのみ	0	0	3	0	0	3
介保訪看	0	0	2	2	1	5
医保訪看	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	5	2	1	

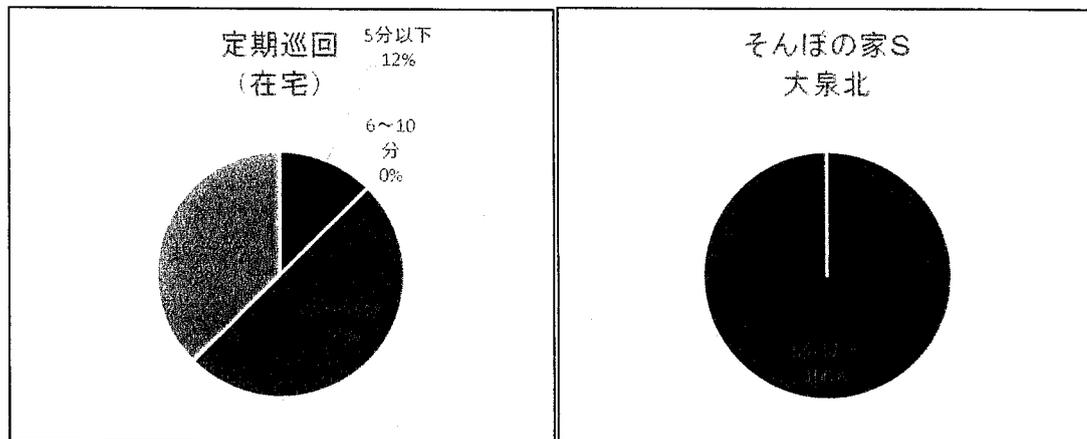


そんぽの家S 大泉北	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	全体
アセスのみ	2	0	1	0	0	3
介保訪看	5	2	1	1	1	11
医保訪看	0	1	0	0	0	1
合計	7	3	2	1	1	



【4. 移動時間（分）】

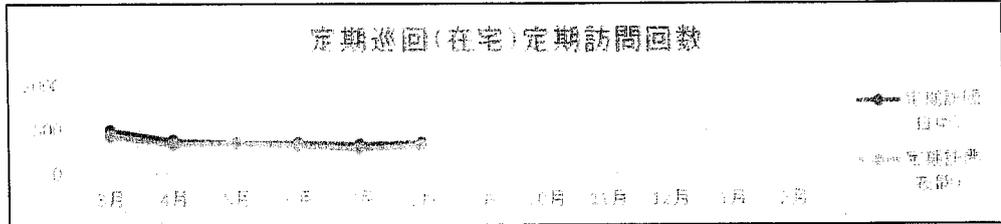
	5分以下	6~10分	11~15分	16~20分	25分以上	合計
定期巡回 (在宅)	1	0	4	3	0	8
そんぽの家S 大泉北	14	0	0	0	0	14



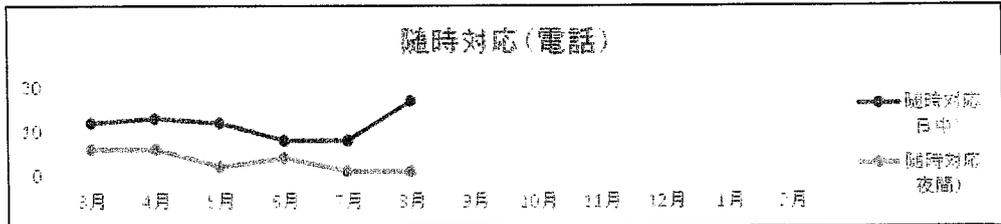
【5. サービス提供回数】

(1) 定期巡回(在宅)

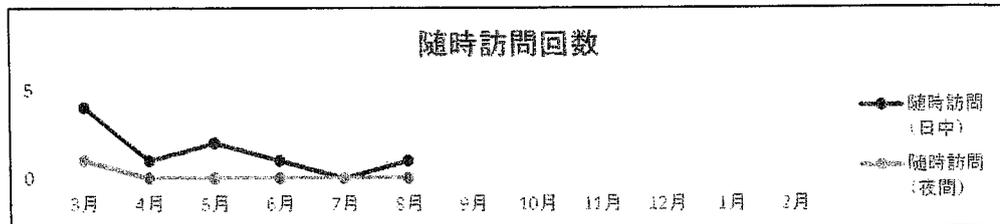
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
定期訪問 (日中)	498	385	352	355	336	357						
定期訪問 (夜間)	424	334	343	320	279	318						



	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
随時対応 (日中)	12	13	12	8	8	17						
随時対応 (夜間)	6	6	2	4	1	1						



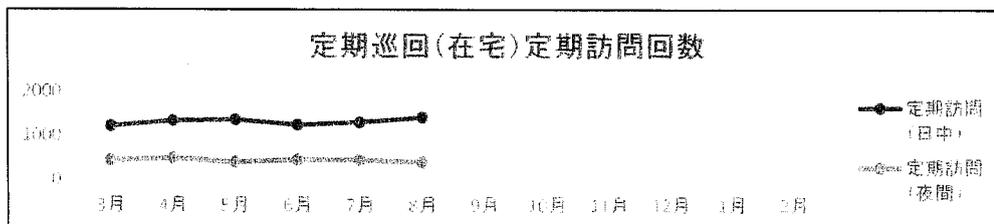
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
随時訪問 (日中)	4	1	2	1	0	1						
随時訪問 (夜間)	1	0	0	0	0	0						



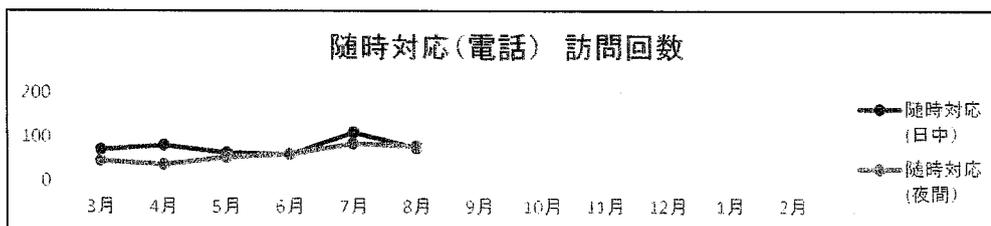
【5. サービス提供回数】

(2) そんぽの家S大泉北

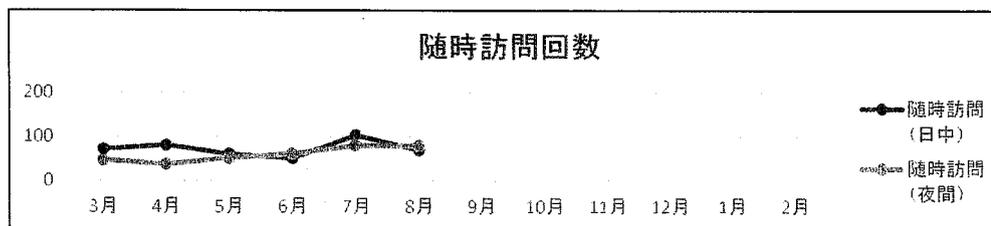
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
定期訪問 (日中)	1217	1340	1361	1247	1302	1413						
定期訪問 (夜間)	436	486	398	447	441	389						



	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
随時対応 (日中)	71	81	64	60	110	75						
随時対応 (夜間)	46	37	54	61	85	79						



	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
随時訪問 (日中)	71	80	60	51	103	69						
随時訪問 (夜間)	46	37	51	61	80	79						



事例紹介：転倒後の状態快復

利用者情報 年齢 85 性別 女性 要介護度 要介護4

主な疾患 糖尿病、高血圧、左大腿骨頸部骨折、腰痛、白内障・右網膜剥離手術、脳梗塞後遺症による左半身麻痺

身体状況 障害自立度 A2 現在の移動は車椅子にて自走

生活状況 2009年に夫他界、一人娘で介護してくれていた娘も2014年に他界。2014年5月から独居生活開始

認知状況 認知症自立度 自立 認知症はなく、自己判断できる。

サービス導入経緯

脳梗塞後遺症として左片麻痺があり、一人娘に介護をうけていたが、娘が癌で他界した為、その後は老健施設に入所。入所時は4点杖で歩行していたが転倒があり全面車椅子での生活をしてきた。本人の強い希望で自宅に戻り、2014年5月～独居生活が始まる。

看護サービス：有

<サービス内容・アセスメント等>

転倒の不安や筋力低下、福祉用具の不足などが考えられ、今後はADL向上の必要性があるが、本人の気力は乏しい。持病の糖尿病は間食好きなこともあり高血糖であったが、老健入所後、間食制限をし安定している。在宅でも引き続き血糖コントロールの必要性あり。排便コントロールも行っている。

支援体制

	月	火	水	木	金	土	日	1日のスケジュール等
6								6:30 起床、排泄、洗面、更衣
12								10:30 排泄、下膳 週2回掃除
18								17:00 排泄、夕食、服薬、車イスへ移 18:00 下膳・ベッドへ移乗 21:30 排泄、洗面、更衣、就寝
24								* 18:00～転倒後すぐに追加
備考								

サービスの振り返り<効果・感想>

- 転倒後1週間：転倒後の不安感と痛みから、「ヘルパーさんがトイレから出てこない」「早く来て」等のコールが頻回。痛みの影響もあり精神不安定状態が続いており、転倒後の安静の為にベッド上での食事も減少。その為、食前に車イスへ移乗し、食後にベッドへ移乗するサービスを追加し食事量の改善を目指した。医師よりエンシュアの処方も追加。痛みの訴えが強い時はカロナール頓服。
- 転倒後2週間：痛みは少し緩和されたが継続。精神的にも少し落ち着いたが痛みが出るとコール有り。エンシュアは飲んでおり、少しずつではあるが快復傾向にある。
- 転倒後3週間：痛みの訴えが少なくなり、元の生活に戻れる様に車イス上での生活時間を増やす為、昼食時から車イスに移乗、特に問題なく継続。以前の生活に近づいたことで食欲も少し増加。
- 転倒後4週間：カロナールの使用もほとんど無くなり、痛みの訴えも無し。以前の様に毎回Pトイレを使用した排泄に戻る。

2021年9月現在

現在のサービス体制別紙記載

転倒直後は痛みによる精神不安定により、コール頻回・痛みの訴え・混乱・食欲減退が見られた。食欲と寝たきり予防の観点からサービスを追加し様子を見たところ、徐々に状態も良くなり依然と同じ生活をおくれるまでに快復。食事量の変動が多い方なので、エンシュアは継続し更なる状態の安定を目指している。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

事例

認知症の独居生活を維持するためにサービス内容を変更したケース

84歳 女性 要介護 2 (障害自立度: A2 認知症自立度: I)

導入の経緯

認知症により、服薬・室温管理・水分摂取が出来ない。暑い時期は熱中症のリスクが高く、水分摂取も適宜行わない為、短時間での見守りができ、状況によって柔軟に対応出来る定期巡回の利用を開始。

主な疾患

認知症

身体状況

ADLは自立
お一人での買物を習慣的に行う

生活状況

独り暮らしをされており、娘様が時折訪問されているが、仕事がある為様子を見に来ることが難しい。

介護目標

- ①薬をしっかり飲むことが出来る
- ②室温の管理ができ在宅での生活が継続できる
- ③水分摂取をしっかり行う

週間計画①

看護サービス : 無

0:00	月	火	水	木	金	土	日
6:00							
12:00							
18:00							
22:00							

— 定期巡回サービス

ポイント

■定巡回サービス:

10:00: 服薬確認・水分補給

17:00: 安否確認・水分補給

■ご家族対応

必要物品の購入等

■看護師によるアセスメント

生活管理に対する情報共有と意見交換

看護連携

服薬管理・水分補給を行い心身ともに安定した日常生活が送れる様に留意が必要

看護助言

食事量と水分量の把握を行い食事・水分摂取量の留意が必要

支援経過

- ①サービス当初は、サービス時間に買物に行っており不在の事も多かったが、娘様にも協力してもらいサービス時間の理解をしてもらえる様に、表を作りTELを入れてもらう様にして対応する。
- ②サービス時にエアコンの温度設定をヘルパーが確認・設定することで、室温管理を行う。
- ③水分補給を促すことで脱水を予防する

導入の効果

- ①予定表作成と娘様の連絡によりサービス時間を理解出来ている
当初はサービス時に不在の事が多かったが、ほぼ在宅されている。
- ②サービス時にエアコンの温度設定をヘルパーが確認・設定することで、室温管理を行う。
特に夏場でも、室温を調整することで本人の体温調節を行える様になった。
- ③水分補給を促すことで脱水を予防する
毎回のサービス時に、経口補水液などを声掛けにより飲んで頂ける様になった

ご本人の様子	導入時	導入後
	1：サービス時に不在 2：室温管理ができない 3：水分摂取を自身で意識して行わない	1：ご在宅がほとんど 2：ヘルパーが温度設定を行う 3：毎回水分を摂ってもらっている

今後の課題

現在は下肢筋力はしっかりしているが、高齢により自宅の急な階段や外出先での転倒のリスクが上がる事が想定される。
今後生活スタイルを変える必要が考えられる。

SOMPOケア大泉学園定期巡回・随時対応型訪問介護看護 介護医療連携推進会議 記録

開催日	開催時間	
中 止		

■出席者

名前	所属	名前	所属

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1 開会のあいさつ | <input type="checkbox"/> |
| 2 介護・医療連携推進会議の参加者のご紹介 | <input type="checkbox"/> |
| 3 会議目的・サービス概要 | <input type="checkbox"/> |
| 4 実績報告 | <input type="checkbox"/> |
| 5 事例紹介 | <input type="checkbox"/> |
| 6 サービスへの評価・要望・助言 | <input type="checkbox"/> |
| 7 協議会メンバーからのご連絡 | <input type="checkbox"/> |
| 8 閉会のあいさつ | <input type="checkbox"/> |

■記録

会議開催の予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止とさせていただきました。

自己評価・外部評価 評価表につきましては、後日各関係者の機関に郵送し、返送していただきました。